

## 平成23年度第4回普及・情報専門委員会 議事概要

- 日時 平成24年1月24日（水）13：30～15：00
- 場所 文部科学省・研究交流センター 2階 第1会議室
- 出席者 委員長：大嶋龍男  
（敬称略） 委員：高橋秀和、助川友之、北村文昭、黒羽晋、河邊治雄、岡野正巳、  
櫛田浩司、高田有理子  
事務局：吉田重信、菊池正宏、伊藤祐二

### ■議事

#### 1 筑協ホームページアンケート調査結果について

事務局から説明。

#### 2 筑協ホームページの再構築の検討について

今回、筑協ホームページアンケート調査結果及び事務局素案を検討材料にしなが  
ら、目的は何か、何を発信していくのか、幅広い角度から忌憚のないご意見などを頂戴しま  
した。

#### （委員の主な意見）

- ・筑協の予算の関係上、何ができて何ができないかは自ずと決まると思う。
- ・つくばで今何が行われているのかを知りたい人がいる。一般国民に向けて発信すべき。
- ・対象を3つに分ける必要はない。会員と会員以外の2つでいいと思う。
- ・つくば科学万博記念財団では、今つくばで何が研究されているのか、つくばサイエンス  
ニュース（プレス発表を基に専門家が分かりやすく作成）を毎週発行している。アクセ  
スは1500～2000件。筑協で作成するのは大変なので活用してはどうか。
- ・アクセス数を向上させるには、いかに企業の方にHPを見てもらうかである。企業が今  
ほしい情報をリサーチしないと難しい。
- ・TCIでは、研究成果の発表会やイベント情報など集約し、つくばホットライン（中小  
企業向けにわかりやすく作成したメルマガ）を毎週発行している。登録数は約500社。  
筑協で作成するのは人的・予算的に難しいと思う。
- ・筑協HPでは、研究成果やイベント情報は箇条書きにし、詳細は各機関のHPに飛ばす  
方法しかないと思う。また、対象については、筑協としてどういう方に来てもらいた  
いのかを考えて絞られた方が良い。
- ・毎年民間企業の会員が退会しているので、33企業をトップページで1～2週間ごとに

紹介してはどうか。アクセスも増えるし、脱会もしないと思う。

- ・サイエンスQの取り組みもあるので、学生は外せないのではないか。
- ・全会員のご協力を得るために、筑協会員に対してHPをこのように充実させていきますよと幹事会や総会でアピールすべきである。そうしないとなかなか旨くいかないと思う。
- ・委員会の考えを会員に示して、意見を求めてはどうか。
- ・今後、懸賞を考えてはどうか。JAXAも協力できると思う。
- ・懸賞や有料広告などの工夫は大事だと思う。
- ・つくばの今を発信する（つくば発の研究成果や動きをPR・伝える）のは、やはり筑協でやってほしい。筑協のHPから、今のつくばが分かるようにすべきである。
- ・先日開催した「テクノロジーショーケース」は、まさにつくばの今だと思う。これを筑協HPで紹介すれば、研究者や企業にとってもメリットがあるし、筑協HPの魅力向上に繋がる。
- ・筑協は予算も人もいないので、きちんとしたHPを作るには外の協力・活用が必要。
- ・外部の方に筑協HPをどうクリックしてもらうかが大事。
- ・昔は相互の交流が重要だったが、今は日本が世界に目を向ける必要がある。

#### （結論）

- ①筑協HPの目的について、「一般への普及啓発と内外に積極的に発信していく」旨を加え改訂し、次回の幹事会で了承いただくこととする。
- ②筑協HPの対象については、会員向け以外に一般向けも加える。また、掲載内容については、業務に負担の掛からない程度に見直し整理する。
- ③予算の関係上、維持管理費（年95万円）の中で筑協HPを見直していく。
- ④委員会の考え（見直し案）を筑協会員にメールで示し、様々な意見をもらう。
- ⑤筑協HPのアクセス数向上策として、筑協会員に懸賞の協力を要請していく。
- ⑥3月に委員会を開催する。

## 2 その他

- ・委員長から、青少年の科学技術離れ対策の一層の推進のため、県内の小中学生を対象に「日本人宇宙飛行士との交流会」を来年度事業として開催したい旨の説明がありました。